



2025年 中村哲記念 人と自然との和解

～アフガニスタンでの思索と実践

〔日時〕 2025年11月15日（土） 13:30～17:00（開場12:30）

〔会場〕 西南学院大学チャペル（福岡市早良区西新6-2-92 大学構内の南西部）

〔主催〕 ペシャワール会 ※申込不要／入場無料／参加自由

プログラム

第一部 映像

『用水路が運ぶ恵みと平和』技術篇「PMS の灌漑技術」

第二部 講演

「中村医師の実践 自然との関係を問い続ける」

講演 藤田千代子（PMS 支援室長）

講演 大和則夫（PMS 技術支援チーム）

第三部 講演+対談

「アフガニスタンの人々に尽くした医師 中村哲」

講演 レシャード・カレッド（医師／「カレーズの会」理事長）

聞き手 村上優（ペシャワール会会長／PMS 総院長）

※PMS＝現地事業体Peace (Japan) Medical Services(平和医療団・日本)



〔お問い合わせ〕 ペシャワール会事務局

〒810-0003 福岡市中央区春吉1-16-8 VEGA天神南601号

電話：092-731-2372 FAX：092-731-2373

メール：peshawar@kkh.biglobe.ne.jp

ホームページ：https://www.peshawar-pms.com



中村哲医師はかつて、水を扱うことは「人と人、人と自然との和解を問いつける仕事」と語っていました。今年の記念講演では、この言葉をテーマに、用水路や堰に込められた中村哲医師の思索を辿ります。

干ばつと洪水の影響を受けずに安定した取水ができるよう、伝統的工法を取り入れながらPMS取水方式を確立した中村医師。その活動において、「自然を相手にはするが、自然とは戦わない」という姿勢を貫きました。

中村医師が手掛けたマルワリード用水路や堰についてや、現在PMSが行なっている事業が大切にしている考えを講演でお伝えします。ゲストにアフガニスタン出身の医師であるレシャード先生をお招きし、現地の人々から見た中村医師の活動についてお話しいただきます。

登壇者プロフィール

村上 優

医師。ペシャワール会発足時の発起人の一人。1992年より事務局長、副会長を務め、2015年より会長。中村哲医師の後を継ぎ、2019年12月よりPMS総院長を兼任。

藤田千代子

1990年より看護師として現地赴任。以来、医療、井戸、用水路事業において中村医師の現地活動を支えてきた。現在、ペシャワール会PMS支援室室長・理事およびPMS総院長補佐として、現地に度々滞在し活動。

大和則夫

元大手建設コンサルタント会社勤務。2020年PMS技術支援チーム結成時にペシャワール会に参加。以降、技術支援チームのまとめ役・理事として、灌漑水利事業の技術的な側面についてアドバイスをこなす。

レシャード・カレド

医師。1950年、アフガニスタン・カンダハール出身。1969年4月来日。千葉大学留学生部を経て、72年京都大学医学部卒業後、数々の病院での勤務医を歴任。87年日本に帰化。93年、静岡県島田市でレシャード医院を開設、院長。2002年4月、アフガニスタン復興支援のためNPO法人「カレズの会」を設立、理事長。



【お願い】

お問い合わせはペシャワール会事務局(092-731-2372)にお願いします。
※西南学院大学へのお問合せはご遠慮ください。

【会場アクセス】

◎地下鉄(空港線):西新駅①番出口から徒歩7分

福岡空港～西新駅…約17分／博多駅～西新駅…約12分／天神～西新駅…約8分

◎バス:防塁前バス停から徒歩5分

博多駅～防塁前…約40分／天神～防塁前約20分

